

## 第2回 北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会 (概要)

先般開催した、平成30年度 第2回北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会の概要について、次のとおりお知らせします。

### 1. 日時

平成30年9月4日（火曜日） 13時30分～15時20分

### 2. 会場

北海道森林管理局 3階 大会議室

### 3. 検討結果

国有林材の供給については、現時点で調整の必要はないとの意見集約がなされた。

### 4. 主な意見等

- 原木の在庫は、全道的に不足している状況にあるが、徐々には回復の傾向にある。ただし、中小径材は引き続き不足傾向で推移している。
- トドマツは、慢性的な不足感がみられるものの、合板工場では在庫が増加している。カラマツは、製材工場、合板工場ともに原木の不足感がみられる。ただし、素材価格には大きな変化はみられない。
- 原料材は、委託販売では徐々に価格が上がっており、不足感がみられる。
- 広葉樹チップは、引き続き不足感が見られるが、価格は落ち着いてきている。
- 本州からの合板材のニーズが高く、道外への移出量は昨年より1割以上増えているような状況にある。
- 大径材は今後も出材されるので、付加価値を付けて利用できるような取り組みが必要となる。

- 今年は雨が多く、今後も台風等による天候不順により造材や運材が遅れることを懸念している。
  
- バイオマス発電では、林地未利用材の利用を増やすため、その集荷に協力していただく事業者を育てて、集荷量を増やしていく。